

豪雪によるキッチン設備の納入遅延への対応について

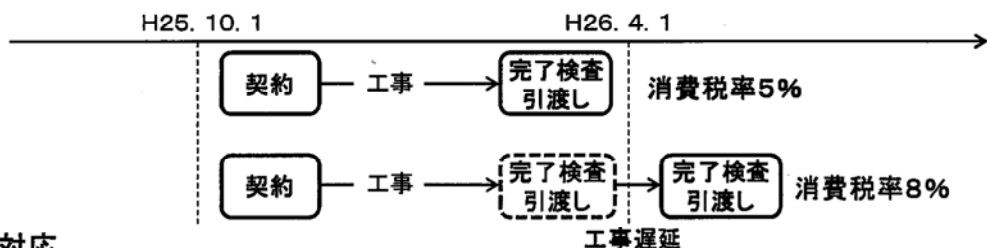
1. 被害の状況

- LIXILグループのシステムキッチン生産主力工場（埼玉県深谷市。同社の約6割の生産能力）が2月14～15日の豪雪により被災。（受注済みの約12000件に影響）
- 工場生産ラインの屋根が破損し、工場の稼働ができない状態のため、既に受けている注文分について3月末までの納品が困難な状況。
- 昨年10月以降に契約し3月末までに予定していた引渡しが、キッチンが設置されていないため4月以降にずれ込むことにより、住宅全体の税率が5%から8%となり負担が増大。
（事業者が消費者から負担を求められる可能性大）
- 昨年9月までに契約した物件についても引渡しが遅れることにより、引越しや通学など建築主に多大な不便を来すことになる。

2. 対応案

- 代替品による対応のほか、住宅全体について8%の消費税が課される等の影響が生じないように、次の取扱いを行う。
- 契約の変更により、キッチンの設置を除いた工事を3月末までに完成させ住宅を引き渡した上で、4月以降にキッチン設置工事を実施。
 - この場合、キッチンが設置されていない住宅について、完了検査を迅速に行うよう、地方公共団体等の確認検査部局に周知。

・消費税についての考え方



・対応

